

基礎交付金事業実績書

団体名：東郷地区コミュニティ推進協議会

1 総事業費 2,070,067 円

2 事業内容

(1) 事業名 学社融合事業（青少年育成事業）

事業費	72,648 円
事業内容	<p>◆東郷小PTAウォークラリー協働 開催日：10月28日（土） 場 所：東郷公民館（運動広場）および大嶽山 参加者：児童48名 内 容：今年度も協働の意思を示し実行委員会へ参画し、大嶽山に関連したクイズを提案、当日はチェックポイントでのクイズ出題およびゴール地点にてミニ縁日的に糸引き飴とくじ引き消しゴムを各児童1回ずつチャレンジさせ、併せて、菓子の詰合せを参加賞としてプレゼント。 当日は穏やかな陽気となり、事故・怪我もなく無事終了。</p> <p>◆南方元気っ子クラブの協働（移動教室の運営） 開催日：6/10（土） 開講式・・・ 南方教育事務所 主担 7/26（水） 移動教室・・・ 東郷地区コミュニティ推進協議会 主担 9/2（土） 工作教室・・・ 西郷地区コミュニティ推進協議会 主担 1/28（日） 郷土かるた交流会・・・ 中央地区コミュニティ推進協議会 主担 場 所：KIBOTCHA（東松島市） 参加者：24名 内 容：東郷として主担となった移動教室を企画・運営。南方地区3小学校児童（3～6年生）を対象とし、災害時における有効な体験をさせながら、児童間の交流を図った。併せて、参加児童の感想等を把握するため、アンケートを実施。 主担以外の教室等はサポート役として活動。</p> <p>◆東郷小児童からの火災予防ポスターの募集および掲示 取組み期間：12月20日（水）～1月12日（金） 応募数：14点 内 容：安全・安心部会を開催し、地域防災につながる取組みを検討した結果、本取組みを行うことを共有。 東郷小から趣旨等の理解を得て、4～6年生を対象とし本ポスターを募集。 応募作品は14点となり、地区内8行政区の各集会所へ1～2枚ずつ掲示を展開中（半年サイクルで掲示場所をローテーション）</p>

事業成果	<p>○東郷小PTAウォークラリー協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの連携を図りながら、円滑に協働出来たもの認識。 ・あくまで主催はPTAであるが、同企画も3回目となり、次年度に向けてはマンネリ化しないよう、PTAとの良好な関係を保ちながら、より一層工夫を講じる必要があると認識。 <p>○南方元気っ子クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響を受けて休止していた本クラブが令和元年以来の再開となり、南方地区3小学校児童の交流を図り、良好な人間関係を築くとともに、リーダーシップ等を養うことを目的とし、年4回開催できた点は評価したい。 ・主担した移動教室は災害時に生き抜く知恵を学ぶことを趣旨として、火おこし体験等を行い、児童たちは真剣に取り組んでいた様子が伺えた。 ・アンケート結果から、「とても楽しかった」「まずまず楽しかった」と回答した児童が100%となり、子ども達が満足してくれたことが把握できた。 <p>また、火おこし体験が好評であったことや、動物の世話体験のニーズが高いこと等、子ども達の意向が把握でき、次回に活かしたい。</p> <p>○東郷小児童からの火災予防ポスターの募集および掲示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、夏休み期間を利用して募集する予定であったが、複数の団体等からもポスター募集があるとの情報を得て、冬休みに変更のうえ募集したことで、14点と多くの応募があったものと推察。 ・応募してくれた各児童の防火に対する強い思いが個性豊かに表現されており、地区住民の皆さんはその思いを感じ取って欲しいと願う。
------	--

(2) 事業名 地域活動事業

事業費	533,887円
事業内容	<p>◆ふれ♡隊活動</p> <p>活動日：6/9（金）、9/11（月）②、9/12（火）、10/11（水）、11/10（金）、12/4（月）、12/19（火）、1/15（月） 計9回</p> <p>場 所：各行政区集会所等</p> <p>活動団体等：5行政区の老人クラブ（3つの老人クラブは2回開催）</p> <p>参加者：延べ130名</p> <p>内 容：ボッチャ、ストラックアウト等の軽スポーツを通じて、地域住民相互および公民館職員との良好なコミュニケーションづくりに努めた。</p> <p>◆花いっぱい運動 （各行政区）</p> <p>取組み期間：6月4日（日）～6月11日（日）</p> <p>場 所：各行政区花壇等</p> <p>活動自治組織：8行政区（地区内全行政区）</p> <p>参加者：延べ306名</p> <p>内 容：快適な環境美化に資するため、各行政区が行う花壇の植栽等に要する経費に対して補助金を交付。</p> <p>（東郷公民館）</p> <p>開催日：6月9日（金）</p> <p>場 所：東郷公民館（定住センター脇花壇）</p> <p>参加者：14名（役員および事務局）</p>

	<p>内 容：役員が主体となり、環境美化の一環として、構内花壇の整備および花卉を植栽。</p> <p>◆清掃作業（東郷公民館周辺の清掃活動） 開催日：12月7日（木） 場 所：東郷公民館周辺 参加者：16名（役員および事務局） 内 容：年末奉仕作業として役員中心による構内外（側溝等）の清掃を実施。</p> <p>◆自主防災組織へのサポート 実施日：7/9（日）、8/6（日）、10/15（日）、11/5（日）、11/12（日）、11/19（日） 場 所：各行政区集会所等 活動自治組織：6行政区 参加者：延べ675名 内 容：6行政区が主体的に実施した自主防災訓練（避難、応急手当、消火等訓練）に対して補助金を交付。 また、能登半島地震の教訓を踏まえ、各行政区へ携帯ガスコンロ・ガスボンベ・ウォータータンクの3点を防災用品として配備した。</p> <p>◆東GOマルシェの開催 実施日：11月4日（土） 場 所：南方総合支所（野外交流スペース） 内 容：児童の衣料品（おさがり）譲渡を中心に、併せて地場産の農産物販売を東GO地域づくり事業部が主体となり開催。</p> <p>◆新NISA初級講座の開催 実施日：2月22日（木） 場 所：東郷公民館 参加者：15名 内 容：人生100年時代を迎え、安定した老後生活を送るための資産形成を考える一助となるよう本講座を開催。 講師として労働金庫へ依頼したところ、快諾を得られ、町内外から15名の参加があり円滑に実施された。</p>
事業成果	<p>○ふれ♡隊活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度実績6回、参加者88名、本年度は9回、参加者130名と大幅に増加したことは、認知度も高まり、本取組みを通じて親睦および交流の輪が広がっていると認識。 ・一方、行政区単位の老人クラブの活動状況を見ると活発に活動している行政区とそうでない行政区があり、様々な内実があると思われるが、今後は合同での活動も視野にいれておく必要があると思われる。 <p>○花いっぱい運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・域内の全8行政区（前年7行政区）で取り組み、延べ306名（前年222名、84名の増）が参加され、環境美化活動を通じて親睦を深めているものと捉える。また、児童も多数参加し、世代間交流にもつながっているものと思われる。

	<p>○清掃作業（年末年始奉仕作業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館周辺の側溝や花壇等を中心に清掃活動を行い、環境美化につながったものと捉える。 ・本年は運動広場周辺の側溝の汚泥等も取り除き、その汚泥を固定が不十分であったU字溝を固定させる材料として有効的に活用できた。 <p>○自主防災組織へのサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・域内の6行政区（前年5行政区）で取り組み、延べ675名（前年649名、24名の増）が参加され、各行政区が主体的に訓練を実施、いざという時にいかに立ち回れるかを意識した訓練内容となっており、実効性を期待したい。 ・ライフラインの断絶を想定した防災用品の配備は必要不可欠であり、今後も補充を検討したい。 <p>○東G0マルシェの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画が不十分な点もあったが、おさがりは譲渡数114点（譲渡割合43.5%）と約半数がリユースされ、準備した農産物もほぼ完売となり、一定の成果があったものと認識。 ・次年度も開催する運びとなった場合、今回の反省を踏まえ、早い段階で企画・立案を行うとともに、諸準備を計画的に進め、品揃えの充実に努めたい。 <p>○新NISA初級講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元本割れのリスク懸念や手続きの方法が分からない等、不安の解消につながる内容を主とした講義を想定していたものの、一部内容は若干レベルが高かったのではないかと感じたことは反省点である。 ・参加者から本講座に関するアンケートを実施し感触を確認したかったが、労働金庫側で実施しており、後に結果を共有のうえ、今後の対応につなげていきたい。
--	--

(3) 事業名 自治組織等活動奨励補助事業

事業費	140,000円
事業内容	<p>◆自治組織が主体的に行う行事等に対する補助</p> <p>実施日：8/6（日）、10/22（日）、11/19（日）、11/26（日）12/14（木）</p> <p>場 所：各行政区集会所等</p> <p>活動自治組織：5行政区</p> <p>参加者：延べ270名</p> <p>内 容：行政区が主体的に地区内住民の親睦と交流を目的に企画・実践した取り組み（各種スポーツ大会）に対して補助金を交付。</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・域内の5行政区（前年3行政区）で取り組み、延べ270名（前年165名、105名の増）が参加され、老若男女が一同に会し世代間交流に寄与しているものと認識。 ・一方、1自治組織等の同一事業の限度は最大3年間となっており、当年において、その限度に達する行政区が複数存在するため、次年度の活動においては留意が必要。

(4) 事業名 ふれあい軽スポーツまつり事業

事業費	232,311円
事業内容	<p>◆ふれあいスポーツまつり 開催日：10月7日（土） 場 所：東郷公民館（運動広場） 参加者：156名 内 容：従来行っていた運動会的な競技から、グラウンドゴルフおよびペタンクにシフトし、行政区対抗戦を実施。 併せて、東郷地区に因んだ〇×クイズを行い、多世代間の親睦と交流を図った。</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・初競技のため、スタート時は選手間の戸惑いも見受けられたが、ゲーム数を重ねる毎にスムーズにプレーしていた様子が伺えて安堵した。 ・老若男女関係なく楽しめる要素を持ち合わせている軽スポーツであり、回数を重ねることで認知され、エントリーの増にもつながる可能性があると認識。 ・課題等が多少生じたものの、総じて和気あいあいと親睦・交流を深めていた雰囲気が見え、盛会裏で終了したと捉えている。

(5) 事業名 環境整備事業

事業費	117,664円
事業内容	<p>◆東郷小2年生オオムラサキ観察会対応 対応日：6月20日（火） 場 所：オオムラサキハウスおよび東郷公民館 参加者：26名（児童23名+教諭3名） 内 容：東郷小2年生の総合学習の一環として、オオムラサキの羽化シーンの上映およびパンフを用いた生態等の学習や成虫を実際に観察するカリキュラムをサポートした。</p> <p>◆オオムラサキおよびメダカの飼育 期 間：年間 内 容：オオムラサキハウス内の除草等の環境整備およびメダカ水槽の保守管理を実施。 本年はオオムラサキの個体数が4～5羽と厳しい状況であった。</p> <p>◆各行政区リサイクルステーションの保全管理（注意喚起看板の設置） 設置時期：2月 設置場所：8行政区集会所等 内 容：各行政区にあるゴミ集積所（リサイクルステーション）の持ち去りおよび投棄行為へ監視を行っている旨の看板の作成および設置。</p>
事業成果	<p>○東郷小2年生オオムラサキ観察会対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年の成長過程が見える写真を作成・掲示したことにより、興味や関心が高まった模様であり、総合学習に寄与できたものと捉える。 ・後日、各児童から謝意の絵手紙が届けられ、子ども達の純朴な心に触れることができ、前向きなエネルギーをもらった感があった。 <p>○オオムラサキおよびメダカの飼育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オオムラサキは冬期間の気象状況が悪影響を及ぼした可能性が高く、成虫の個体数が大きく減少したため、冬眠期間の環境を整え、1羽でも多く孵化させるよう努めたい。

	<p>○各行政区リサイクルステーションの保全管理（注意喚起看板の設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板の設置による効果の有無は明確ではないものの、僅かでも良心への訴求につながったものと捉える。 ・一方、対象品外の持ち込みやリサイクル品の持ち去りを防止する抜本的な解決策を見い出すことは容易ではないと思われる。
--	---

(6) 事業名 子ども農園事業

事業費	138,463 円
事業内容	<p>◆植付けの陣 開催日：6月3日（土） 場 所：借用田および畑（東郷公民館近隣） 参加者：36名（うち児童15名） 内 容：子ども達自らが手をかけた農産物の貴重さや収穫の喜びを体感させることを目的として、定番のサツマイモ・ポップコーン・水稻に加え、落花生の定植を実施。 植付け終了後、定植した4作物に係るクイズを出題し、正解した児童へ菓子等のプレゼントを行った。</p> <p>◆収穫の陣 開催日：10月14日（土） 場 所：借用田および畑（東郷公民館近隣） 参加者：40名（うち児童17名） 内 容：春に植付けした作物の収穫および焼き芋とポップコーンづくり、餅つき体験を実施。事故・怪我もなく無事に開催。</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の参加数をみると、植付けの陣は前年度と比較し3名の増加、収穫の陣は10名の減となり、特に収穫の陣は大幅な減となってしまったが、外国籍の3児童が参加し、日本の文化に触れ合いながら、その場を盛り上げてくれた。 ・植付けの陣では、クイズが児童達は楽しんでくれた様子であり好評と捉えた。 ・収穫の陣では、前年から実施しているサツマイモ掘りの「一番でっかいで賞」は約800g（前年は約400g）と大幅に増加し、収穫量的にも豊作であった。 ・準備されたものを単に食するから、自身で調理に携わったことで、美味しさも一段とアップしたものと推察される。

(7) 事業名 高齢者支援事業

事業費	93,630 円
事業内容	<p>◆独居高齢者へシクラメン贈呈 贈呈日：11月21日（火）～22日（水） 対象者：65名 内 容：65歳以上かつ独居者へ各区長の協力を得て、シクラメンを贈呈。</p> <p>◆東郷福寿大学閉講式および芸能祭の運営 贈呈日：2月15日（木） 場 所：東郷公民館</p>

	<p>対象者：皆勤者 24 名</p> <p>内 容：大学開講式から閉講式まで計 6 回を受講した皆勤者を労い皆勤賞をプレゼント。</p> <p>また、5 年ぶりに芸能祭を開催、各行政区から 17 組が出演され、カラオケ・ダンス・大道芸等が披露された。</p>
事業成果	<p>○独居高齢者へシクラメン贈呈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年に引き続き、不織布でラッピングするとともに、個人名を付したメッセージカードを添えたことにより、細やかな配慮につながったものと思われる。 ・独居老人の方が年々増加傾向にあり、シクラメン贈呈に限定することなく、違う形での寄り添いも検討したい。 <p>○東郷福寿大学閉講式および芸能祭の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加率は 75% (70 人/93 人) と高く、久しぶりの祭事で参加者は十分に堪能していた模様。 ・参加者からアンケートをとった結果、今後、開催して欲しい講座は健康に関するテーマの人气が高く、続いて脳トレ体験のニーズも高いことが把握できたので、次年度の講座選定につなげたい。 ・大きなトラブルもなく、タイムスケジュールどおり進行した点は評価したい。 ・高齢者の方々にこれからも元気と笑いを届けられるよう、創意工夫を施した企画・立案に努めていきたい。

(8) 事業名 先進地移動研修事業

事業費	25,100 円
事業内容	<p>◆北股地区振興会（令和 4 年度優良公民館表彰優秀館）優良事例等の受講</p> <p>開催日：7 月 14 日（金）</p> <p>場 所：北股地区センター（奥州市衣川区）</p> <p>参加者：13 名（当協議会役員 10 名および事務局 3 名）</p> <p>内 容：第 75 回優良公民館表彰の優秀館を受賞した北股地区センターを訪問し、評価された学生との協働によるボランティア活動等の取組みを受講。</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が著しく進展、急激に人口が減少する現況下で岩手県立大学との共同研究のもと、ボランティアワークキャンプを通じて、様々な地域課題（農作業支援、生活支援等）の解決に努めている取組みに共感した。 ・「地域や集落の基盤が崩れて徐々に衰退していく地盤沈下」⇒高齢化や人口減少が進み⇒「日々の暮らしの中で静かに進行する災害」⇒手遅れになる前に⇒「外部へのネットワーク拡大、関心・関係人口の拡大、通勤農業、他」と言った健全な危機感をもって事にあたっていることに大きな刺激を受けた。 ・取り巻く環境は異なるものの、当地域も東郷小学校の統合が計画されており、地域の情勢も大きく変化することが想定されることから、手遅れにならないように先手、先手で事にあたることを心がけたい。

(9) 事業名 ふれあい交流まつり事業

事業費	304,640 円
事業内容	<p>◆ふれあいあじさいまつりの運営（南方コミュニティ運営協議会主催） 開催日：7月1日（土） 場 所：大嶽山交流広場および東郷公民館（定住センター） 参加者：約620名 内 容：大嶽山交流広場を会場として、町内の小中学校（4校）の児童・生徒による伝統芸能・吹奏楽を披露。また、水鉄砲射的等各種ゲームコーナーの運営および地元商工会等による物販。</p> <p>◆ふれあい収穫まつりの運営（南方コミュニティ運営協議会主催） 開催日：11月4日（土） 場 所：南方総合支所前 参加者：865名 内 容：あじさいまつり同様、町内小学校（3校）の児童による伝統芸能を披露。また、スリッパ飛ばし等各種ゲームコーナーの運営および地元商工会等による農産物等の販売。</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none">・あじさい&収穫まつりとも、昨年に引き続き2回目の開催となり、ノウハウも蓄積され、前年度と比較し円滑に運営できたものと認識。・来場者数は、あじさいまつりが対前年120名程の増となり、認知度が高まってきていることが推察される。・次年度も継続開催となった場合、同内容の趣向とならないよう、一層の創意工夫が必要になるものと捉える。

(10) 事業名 コミュニティ組織運営費

事業費	411,724 円
事業内容	<p>◆協議会組織運営</p> <ul style="list-style-type: none">・職員および集落支援員のがんばる地域づくり応援事業に係る業務の時間外手当として執行。・各イベント等のポスターやポップを効果的に作成するため、大判プリンターを購入。・地域巡回等に用いるリース車の維持管理経費として執行。
事業成果	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度に策定した向こう5カ年の第2次地域づくり計画書に基づき、円滑かつ効果的な事業の企画・立案を進めていく中、新型コロナウイルス感染症の扱いが当年5月より第5類へ移行。徐々に活動制限を設けない方向へシフトしながら、各事業を円滑に展開してきた。そうした中、本年度は専門部会を延べ5回開催、地域づくり計画書に沿った具体的な取組みに関し、メンバー間でワークショップを行い、ニーズを踏まえた実践に努めた。その結果、各部会の自主性が芽生えつつあり当時者意識の醸成にもつながり、住民主体の活動が一步前進したものと捉える。・大判プリンターを用いて作成したポップ等はビジュアル的に訴求度が高く、効果的な活用に努めている。